

年齢や性別など区別なく対戦!!

120人入間市ダイバーシティカップサッカー 楽しく交流



8チームが参加
入間市サッカー協会主催の「第3回入間市ダイバーシティカップサッカー」(後援・読売センター入間支部ほか)が5月20日、黒須サッカー場で行われた。ダイバーシティとは多様性の意味で、今大会は障害の有無や年齢、性別、国籍などに関係なく、サッカーを通じて互いを尊重し、理解を深めることを趣旨としたもの。知的障害者チーム・FC入間ゴールズや入間・向陽女高、少年サッカーの入間シティフットボールクラブやシニアチームなど8チームが参加。クラブなどに所属していない入間市民なども訪れ、約120人で

サッカーを通じ互いを尊重し理解深めることが趣旨



行われた。開会式では入間市サッカー協会・齊藤正明会長が「今日一日、楽しい時間を過ごして下さい」と挨拶。杉島理一郎市長は「サッカーを通して、みんなが交流していただければ」と呼びかけた。



8人制や5人制
試合は8人制や5人制のリーグ戦で行われ、年齢や性別などの区別なく対戦。本気でボールを追いかける姿がみられた。入間シティフットボールクラブ・M.F.金本羽希君(5年)は「障害者チームの人たちもよく頑張っている。いろいろなことが勉強になるし楽しい。初参加となった入間上藤沢中サッカー部の稲橋匠太主将(2年)は「すごく楽しいし、今日は貴重な経験ができた。これから生かしていきたい」と話した。

